

駒の館だより

第21号

平成14年3月1日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-0392 京都府船井郡日吉町
TEL.0771-72-1181(代)

明治鍼灸大学図書館報



目次

- ① 巻頭随筆「新学科開設に寄せて」 松浦 忠夫
- ② 自著を語る
NERVE INJURY and ENTRAPMENT NEUROPATHY 平澤 泰介
『低周波置鍼療法』が出来るまでの裏話 北出 利勝
- ③ 私のお薦めの一冊
“存在の耐えられない軽さ” 智原 栄一
センス・オブワンダー 岡田 薫
- ④ 特集1
医療を見るもう一つの眼
—医療社会学への招待— 矢野 忠
- ⑤ 特集2
アメリカ国立衛生研究所の図書館事情 青木伊知男
- ⑥ 新着図書案内一覧 附属図書館
- ⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記 //



新学科開設に寄せて

附属図書館長 松浦 忠夫

今年は本学にとって一つの大きなエポックを画す年になることは間違いないでしょう。永年の念願であった柔道整復学科が誕生したのです。この新学科は難産でした。3年前文部省（当時）へ4年制学部として申請され、昨年1度流産の憂き目を見ました。そして今年少々小ぶりではありますが、医療技術短期大学部柔道整復学科が無事生まれました。

鍼、灸と柔道整復、従来日本で行われている代替医療（現代西洋医学の範疇に属さない医療全般）の三大分野が、東西医学の補完と融合、の旗の下に集うことになったわけです。小さく生んで大きく育てる。子供同様、丈夫で大きく育てたいものです。

現代医学でも完治できない疾患が依然として存在し、局所的治療法に疑問が呈される。さらに患者の生活の質の向上が望まれる。この様ななかで、患者を心身を一体として捉え、社会、環境の一成員として対処していこうというホリスティック（全人）医学が提唱され、代替医療の役割が見直されています。元来東洋医学は

人体を小宇宙と捉えていたのであり、我が意を得たりと言うところでしょうか、ここで求められているのは摩訶不思議、神秘的な力で直る療法ではなく、治療

効果発現のメカニズムが理論的（科学的）に説明され、再現性が実証されるものであることが必要です。本学の使命もここにあります。鍼灸学部、柔道整復学科共に切磋琢磨してこの目標追究に努力してゆきましょう。

全人医療の実践には医療技術だけでなく、幅広い知識と教養が求められます。図書館は情報面でそれをバックアップしています。直接的な専門情報だけでなく一般教養面でも。

ハリー・ポッターも揃えていますよ。

セイヨウキンミズヒキ（薬草）

学名 Agrimonia Eupatoria L.
バラ科

どんな土地にもよく生えますが、特に粘土質のところによく生育します。
(効能)

気管支炎・扁桃腺炎・利尿・潰瘍・切傷・駆虫・疲労回復等





NERVE INJURY and ENTRAPMENT NEUROPATHY



大学院
平澤 泰介

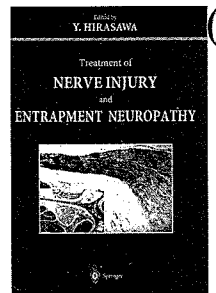
39年も前になるが、私が整形外科教室に入局して一年生のときに、主任教授の諸富武文先生が「骨・関節の研究も大切だが、それを動かす神経・筋の研究も、将来大切になるよ」と、末梢神経損傷の研究テーマを下された。さっそくカリフォルニア大学に手紙を書き、世界的な権威である Marmor 教授から、すぐくるようにとの好意的なお返事をいただいた。入局2年目で、2年間の留学生活が始まった。

それ以来40年近くもこの道の研究に力を注ぐことができた。この間、ハーバード大学 Sledge 教授の下での Clinical Fellow の経験、ドイツの Rütt 教授の下での Würzburg 大学の客員教授の経験によって、海外の多くの著名な先生たちとの出会いもあり、貴重な臨床経験をすることができた。

私が英文の単行本として力を入れて編集かつ執筆したものとしては“Clinical Biomechanics and Related Researches”がある。これは私が1994年「日本臨床バイオメカニクス学会」を主催した際に、Sledge 教授と Woo 教授（ピッツバーグ大学）の3人でまとめたものである。これには教室の研究のメインテーマの一つである骨折治療の早期診断法 acoustic emission についての研究を含めることができた。骨折という“硬”組織の治療に関するものに対して、今回は“軟”組織の損傷治療に関する研究をまとめることができたことは幸せなことである。

一般外来において、手足のしびれ感、脱力あるいは筋萎縮を訴えて来院する患者は少なくない。また、四肢、体幹の外傷において神経麻痺を見落とすことはできない。私が遭遇した末梢神経損傷について、できるだけ多くの写真を中心にまとめたつもりである。新しい赴任地である明治鍼灸大学での研究や臨床にお役に立てればこの上ない幸せである。

一般外来において、手足のしびれ感、脱力あるいは筋萎縮を訴えて来院する患者は少なくない。また、四肢、体幹の外傷において神経麻痺を見落とすことはできない。私が遭遇した末梢神経損傷について、できるだけ多くの写真を中心にまとめたつもりである。新しい赴任地である明治鍼灸大学での研究や臨床にお役に立てればこの上ない幸せである。



自著『低周波置鍼療法』が 出来るまでの裏話



東洋医学基礎教室
北出 利勝

1. 鍼で麻酔が出来る？！

かって中国のハリ麻酔のニュースが世界に大きく報道されたが、この本の内容の軸は、ハリ麻酔の方法を臨床に利用することだった。つまり、鍼に低周波通電をする新しい方法で疼痛疾患に対して治療をしてみるということ。

大阪医大ペインクリニックにおいて、あらゆる疼痛患者を対象に

新しい治療法を試みた。その結果、臨床効果が得られたので、本としてまとめることになったわけである。

2. 書名をつけるとき

書名をつけるときにはいろいろ悩むもの。置鍼術を基本にすえ、それに低周波電流を流すというのが技術的なことだった。それまで、鍼に電気を通したのは良導絡理論の中谷義雄先生（医師）が始めてであった。電気は直流で、電気鍼という用語もあるが電気の種類は低周波なので、単に電気鍼というと区別がつかない。そこで、置鍼を修飾する用語として「低周波」をつけ「低周波置鍼療法」としたわけである。また、鍼灸師

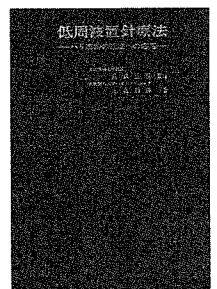
が法的に不利にならないように配慮をし、心を痛めたことは誰も知らない。しかし、新しい命名なので説明が欲しい。ハリ麻酔の方法を疼痛治療面に応用するという内容から、結局「ハリ麻酔の治療への応用」と副題を付けた。

3. 素人に出来る絵の描き方

鍼灸に興味ある医師、歯科医師に対して、経穴名により近づけるための工夫を試みた。たとえば、経穴人形に中国鍼を刺入して写真を撮ったり、頭蓋骨に刺針したり、小児の絵の中に経穴名を入れたりした。あるいは刺鍼した後レントゲン撮影をしてもらってX線像とした。今なら、CT スキャン、MRI 画像、エコー画像などによって鍼体の陰影を作ることができるだろう。

自分流の絵のトレース法を紹介しよう。まず描きたい構図でもってスナップ写真を撮る。現像プリントした後、拡大または縮小してその写真の上からトレーシングペーパーをのせて、筆記用具でなぞるのである。これで結構ましな絵のトレースが出来上がる。

（同書は兵頭正義／大阪医科大学麻酔科教授の監修を得て医歯薬出版から発行された）



私のお薦めの一冊

“存在の耐えられない軽さ”

ミラン・クンデラ著 千野栄一訳 集英社1993年



麻醉科学教室
智原 栄一

本を不特定の人に薦めるのは気が重く迷いました。明治鍼灸の学生諸君があまり読みそうにない本を選びました。

この本というより映画はカナダに留学していた時、レンタルビデオ屋でその物々しいタイトル“unbearable lightness of the existence”に惹かれて観たものです。映画は印象的だったのですが、どこがどうと言えないまましばらく忘れていて、3年ほど前日本語訳の本を見つけて読みました。この本から私が垣間見るのは西洋思想の影です。

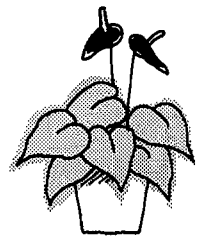
われわれは言うまでもなく、明治以降多くの欧米文化を取り入れおそらくアジアの中で最も欧米文明に近い国の一つです。そして、多くの概念は明治以降の翻

訳の中で育まれてきたものです。たとえば演説は speech の衛生は hygiene の翻訳のために作られた語です。また、聖徳太子の十七条憲法の憲法と Constitution は言葉は同じでも全然意味が違うものです。

現在は構築主義とかポストモダンといった輸入された哲学概念がもてはやされますが、実感・生活感を持たない言葉です。しかし哲学とは生き方の学問ですから概念の背景が見えてこないと理解できません。

本の舞台であるチェコは東欧という一種独特の文化圏ですが、日本人からはかけ離れた登場人物の性規範と“ない交(ま)ぜ”になってわれわれには縁遠い西洋の影を見せてくれます。

この大学で学ぶ諸君は西洋医学と東洋医学という二項対立的な図式でよく話をしますが、われわれは西洋をどれほど分かっているでしょうか？ 西洋文化の“ディープコア”をどれくらい感じ取っているのでしょうか？ この本であなたの“西洋”というものを揺さぶってみてはいかがでしょうか。



センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン著 上遠恵子訳 新潮社



第三生理学教室
岡田 薫

この本は、人間による環境汚染の実態を世界で最初に告発したあの有名な「沈黙の春」の著者 R. カーソンの最後の著書です。ページをめくるたびにこれでもかと続く、農薬など化学物質による深刻な環境汚染を訴えた膨大な前書とは違って変わり、本書は著者が幼い甥と一緒に海辺や森のなかを探検し、星空や

夜の海を眺めた経験をもとに書かれた小さな作品です。自然にふれあうことによって得られる驚きや喜びを感じとり、それらについて深く思いを巡らし時を共有することが、いかに生きることそのものを豊かにするかを情緒豊かな文章と美しい写真でつづっています。

題名の「センス・オブ・ワンダー」は“神秘さや不思議さに目を見はる感性”という意味で、生き生きとした感受性を指しています。この感性は子供には自然

に備わっているものの、残念ながら大人になるにつれその大部分をなくしてしまうようです。かくゆう私もその感性がかなり鈍っているひとりで、この本を読んで遠い子供の頃に遊んだ森や川を懐かしく思い出し、この頃感じていたわくわくした気持ちを最近では感じる事がなかったことにあらためて気付かされました。

『「知る」ことは「感じる」ことの半分ほど重要ではない』と、R. カーソンはこの本の中で言っています。例え、鳥の名前や星の名前を知らなくてもちよっと耳をすまし、立ち止まって空を見上げるだけでもじゅうぶん自然に親しむことができることをこの本は教えてくれます。

私たちはふだん多くの情報を視覚を通して得ていますが、見ているようで見ていないものがなんと多いか！

もう一度、自分自身に問いかけてみる良いきっかけとしてこの本を手にとってみるのはいかがでしょうか。



医療を見るもう一つの眼 — 医療社会学への招待 —



臨床鍼灸医学教室 矢野 忠

今、世界の医療は、科学的根拠に基づいた医療、EBM (Evidence based Medicine) の方向に進んでいる。EBMIは、「現時点で得られた最良の科学的根拠を検査あるいは治療を選ぶ場合に誠実かつ注意深く用いること」であると定義されており、アメリカで急速に広がった医療の新しいパラダイムである。

日本の医療もEBMIによる医療が展開されることは必至である。当然ながら、鍼灸医療に対してもEBMによる医療が要求されることであろう。すでに鍼灸臨床の研究においてもランダム化比較試験 (Randomized Controlled Trial : RCT) が推奨され、RCTによる臨床研究が展開されている。

EBMIは、米国の医療パラダイムとして発展したものである。その根底には米国の文化的背景や医療状況が深く関わっている。はたしてEBMの理念は、日本の伝統医療を発展させるためのパラダイムとして有効なのか、近代西洋医学と鍼灸医療とは、その根底にある考え方が全く異なるだけに慎重な検討が必要である。RCTによる強引で性急な臨床研究は、その医療の特質を失わせることにもなりかねないからである。

一方、医療への信頼性は、その国の医療を受け入れる受療者の文化的思考に影響されると云われている。従って受療者の視点を抜きには医療の本質は、語れないはずである。そのような文脈からいって臨床研究においても受療者からの視点、いわば医療におけるリアリズムが臨床研究を行う場合に必要ではなからうかと考える。

伝統医学は、普遍的な部分も有するが、その国の文化的要素を多分に含んでいる。もっと言うならば、伝統医療は、疾病 (diseases) を対象とするものではなく、病気 (illness) を対象とする医療であり、病理的な病変を基礎として分類された「疾病」よりは、病人の病苦を基礎として分類された「病気」に合うように発展・進歩してきた医療である。そのような伝統医

療の特質をEBM的パラダイムで、掘りあげ、発展させることが可能であろうか。そこには、もう一つの眼が必要なのではないかと考えている。

それが「医療社会学」「医療文化人類学」という学問である。

医療社会学とは、社会学から健康と病気、保健と医療といった現象を扱い、その国における医療の理念と問題点を探りだそうとする学問である。幸いにも、我が国においても医療を社会科学の視点から研究するグループが出てきた。下記に紹介する書籍は、それらのグループの研究者によって書かれたものである。そこには、「患者の主観」あるいは「患者の主体」を尊重し、患者の主体性に立った臨床研究の重要性が語られている。

私は、これからの臨床研究には、RCTによる臨床研究と患者の主体性に立った臨床研究の両方が必要であると考えている。換言すれば「治療する側」と「治療を受ける側」との双方向からの臨床研究が、

21世紀の鍼灸医療を発展させる上で必要ではなからうかと考えている。そういった思いから「医療社会学」を紹介させてもらった。

【医療社会学関係の推薦図書】

『医療社会学を学ぶ人のために』

進藤雄三、黒田浩一郎編、世界思想社

『文化現象としての医療』

医療人類学研究会編、メヂカ出版

『現代医療の社会学—日本の現状と課題—』

黒田浩一郎編、世界思想社

『文化現象としての癒—民間医療の現在—』

佐藤純一編、メヂカ社

『医療社会学のフロンティア—現代医療と社会—』

黒田浩一郎編、世界思想社



アメリカ国立衛生研究所の 図書館事情



医療情報学教室 青木 伊知男

私は現在、米国ワシントンDC郊外にある、NIH（国立衛生研究所）にて脳機能に関する研究を行っています。テロ事件から2ヶ月が経った今でも、研究所では最高レベルの警戒が続き、警察や警備員が頻繁に巡回を行っています。しかし、図書館の中は変わらない静寂が保たれ、論文や文献を求める人々の緊張感と活気に満ちています。

今回は、NIHの図書館事情に関してレポートさせていただきます。NIHは、28の国立研究所や研究センターが集まって構成され、ワシントンDC近郊の都市に分散しています。その中心はベセスダという街にあり、地下鉄を降りると国立医学図書館（NLM）の巨大なビルが見えます。NLMには、世界中の医学文献が網羅的に収録されているほか、PubMedやタンパク・遺伝子情報など医学関連のデータベースを提供しています。

この世界最大とも言える図書館がありながら、実は、私は殆ど利用したことがありません。なぜならNLMはあまりに巨大で、検索に時間を要する上に、私の研究室から徒歩20分もかかるからです。私の研究室は「ビル10」と呼ばれる巨大な病院の一角にあります。ここには「NIH図書館」と呼ばれる、とても使いやすい図書室があります。この図書室の最も素晴らしい点は、徒歩3分という、まさにスーパの冷めない距離にある事です。「距離と足を運ぶ回数は反比例する」ことは言うまでもありません。

ここには4500ほどの学術雑誌が収録され、私が必要とする主要な文献は網羅されています。一階部分は明るいうらわんじ風で、ソファや閲覧机、最新の学術雑誌を提供する書架があり、各机に常設されたパソコンからは、文献検索や各種データベースの利用が可能となっています。地階は、その大部分を書架が占めており、過去の文献や書籍が所狭しと並んでいます。まさに、手軽で充実した理想的な図書室ですが、最近は、ここにも足を運ぶことが少なくなってきました。さら

に便利なものがあれば、不便な方の利用回数が減るのは自然な流れです。

図書室までの距離を30cmにまで短縮したのが、オンライン図書館だと言えます。最近では多くの研究者が、文献の検索にデータベースPubMedを利用しています。これは、NLMが提供するデータベースの一つで、無償で殆どの医学文献を検索でき、抄録を購読できます。また一部の学術雑誌は、図表を含む全文を電子文書で入手できます。NIH図書館は、閲覧が有料の雑誌に対しては、ライセンスを契約することで研究者の利便性を図っています。PubMedで検索した文献を「即座に、その場で」読むことが出来るというのは、なんと素晴らしいことでしょうか！さらに、電子文書を公開していない雑誌でも、PubMed上からワンタッチで「注文」することが出来ます。これは「Loansome Doc system」と呼ばれ、PubMedに収録された雑誌であれば、注文後1～2週間程度で文献の画像コピーが電子メールで送られてきます。

これは有料のサービスですが、NIHでは1日10文献までを無料で研究者に提供しています。これらPubMedを起点にしたシステムは、文献検索に要する時間と労力を大幅に軽減する上、急いでいなければ、物理的な図書室を全く利用しなくても、全ての文献をオンラインで入手することが出来ます。

図書館報の記事でありながら、図書館不要論ともいふべき文脈でのご紹介となりましたが、PubMedなどのデータベースを提供しているのはNLMであり、文献サービスのライセンスをサポートしているのは「図書室」です。また、データベースの検索方法や論文の参考文献リストの作り方など、実際的できめ細かなサポートも充実しています。NIH図書館は、利用者の利便性を優先するという観点から、従来のような書籍や文献を整理して提供するというサービスから、オンラインを中心としたサービスに、その軸足を移しつつあるように感じています。



新着東医系図書及び医学系視聴覚資料一覧

(平成13年1月～12月収蔵分)

書名	著者名等	出版社
ホイホイ〈即効・ツボ押し〉回復術 パソコンに触って疲れたときにその場で簡単にできる カイロドクター独立・開業マニュアル 〈癒し〉の達人 村上式〈ほぐし〉カイロ完全ガイド 手もみ足もみ健康法 足もみ奇穴健康法 あなたの「不調」引き受けます！ ドクター広瀬のメディカル・リフレクソロジー 実力派リフレクソロジストを目指す人へ 英国 筋と健康 心臓発作の予防から、ガンにならない健康な体づくりまで、 家庭でできる究極 心と体を癒す手のツボ・足のツボ 簡単！貼るだけツボ健康法 病気の原因は骨盤の中にあった！あきらめかけていた、あなたへ 女性のための手と足のツボ 自分でできる！ 人体ツボの新秘法 三角シールと診断の妙術 根本治療のシステム 足もみ健康読本 足の裏で病気を治せ！森のパワーで、病気に克つ！！ カラダ快適即効マッサージ 腰痛肩こり全身疲労がうそのように消える！！ ドレナージュの力はこんなにスゴイ！むくみ、すっきりリンパ・ドレナージュ 今日からはじめるアロマセラピーマッサージ 医療のすきま 痛みからの脱却法 脊椎、骨盤に関する手技療法の理論と実際 いたみの神経学を中心に だれもができる速効コンディショニング法 症状改善手技&運動的処方 臨床医学各論 あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師国家試験 受験と学習 痛みは体の SOS 肩こり・腰痛・手足のしびれなどでお悩みの方へ ツボ押し健康法 最新！セルフマッサージ 食べて効く・押して効く 心と体を癒すセラピー・オールガイド 2000-2001 元気が出るツボ&マッサージ カンタン！しかもキモチイイ！！ 実践！整体法入門 毎日の生活の中で手軽にできる「整体生活」 関節ニュートラル整体 自己調整法 新PNF 整体運動理論 臨床鍼灸医学 意積黄帝内経①靈枢②運氣③素問 意積八十一難経 意積黄帝内経太素 第1巻～第3巻 日本鍼灸医学（経絡治療・臨床編） 電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際 図解 鍼灸臨床手技の実際 鍼灸学〔基礎編〕改訂版 高麗手指鍼講座 手指鍼 第1巻 基本編 医家のためのわかりやすい鍼治療 鍼灸最前線 科学化の現在と臨床の展開 続・整体師になろう！ 鍼灸古典入門 中国伝統医学への招待 難経稀書集成1 黄帝八十一薬註難経 難経正義 難経攷注 三部九候図 慶～6 扁鵲倉公列伝 二集 第3回～第7回 詳解 国家試験問題集 2000 あん摩マッサージ指圧師・はり師きゅう師用 第4回～第8回 詳解 国家試験問題集 2001 あん摩マッサージ指圧師・はり師きゅう師用	浅井 隆彦 全国カイロプラクティック師会 五十嵐康彦 五十嵐康彦 広瀬 伸次 島本 揚子 秋元恵実/千田純子 直江 勝司 関 淳治 浅井 隆彦 佐藤 久三 佐藤 清 松田 修 快適マッサージ研究会 編 田中 智子 ギル佳津江 田中 廣治 藤川 勝正 高田一壽/PNFO Tec Japan あん摩マッサージ指圧師・ 鍼灸師教育研究会 桑岡俊文/住居広士 監修 猪越 恭也 監修 指圧屋シュークローズ 監修 井本 邦昭 及川 雅登 黒野 保三 小曾戸丈夫/浜田善利 小曾戸丈夫 小曾戸丈夫 岡部素明/岡田明三/樋口喬吉 廖 登稔 尾崎 昭弘 天津中医学院 編集責任/学校法 柳 泰佑 原著/樋田和彦 日本語版 渡邊 裕 丹澤章八 監修・編集/尾崎昭弘 中山 建三 丸山 敏秋 オリエント臨床文献研究所 監修 明治東洋医学院編集委員会 明治東洋医学院編集委員会	明日香出版社 音羽出版 家の光協会 講談社 現代書林 島本式筋回路研究所 新星出版社 主婦と生活社 中央通信社 竹内書店新社 ナツメ社 西田書店 日本医療企画 永岡書店 芳賀書店 風媒社 文芸社 科学新聞社 桐書房 桐書房 西日本法規出版 パッチワーク通信社 BABジャパン 婦人生活社 三樹書房 東京書籍 工メーカー出版 築地書館 築地書館 築地書館 経絡治療学会 医歯薬出版株式会社 医歯薬出版株式会社 東洋学術出版社 たにくち出版 金芳堂 医道の日本社 現代書林 思文閣出版 オリエント出版社 医道の日本社 医道の日本社

体のツボの大地図帖
鍼治療の科学的根拠 欧米のEBM研究者による臨床評価

簡単！貼るだけツボ健康法
関節ニュートラル整体・自己調整法 新PNF整体運動理論
すぐ効く、よく効くかんたんツボBOOK
ツボ刺激とエクササイズで気になる症
お灸ばなしあれこれ 日本文化史探訪
鍼灸の世界
なる本 カイロプラクティック師

文化現象としての癒し 民間療法の現在
手足のツボハンドブック
島田隆司著作集 上冊・下冊
痛くない心地よい気持ちよい アサンス指圧三段階体内掃除法
整膚学 健康と美と癒し
家庭でできる簡単背骨体操 体の“ゆがみ”を正して健康に！
第5回～第9回 詳解 国家試験問題集 2002
あん摩マッサージ指圧師・はり師きゆう師用
ボケも治る！驚異の健足法
東洋医学論稿集 第一篇 学術的論文集篇～第二篇 エッセイ篇
一頁の医の道を求めて一

足と体の特効ツボ早わかりBOOK
股関節転位を治す全人類の健康法
からだに効くツボMAP
女性の体の悩み111をすっきり解消する特効ツボ125を
現代語訳 黄帝内経素問 上巻・中巻・下巻
もぐさのはなし 日本人はモグサをどのようにして造ってきたのだろうか
電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際
東方医学善本叢書1 重広補注黄帝内経素問 補注釈文黄帝内経素問～6
今日から満足明日から快足 足脚マッサージで健康&リラックス！
カイロプラクティックほど素敵な仕事はない 独立・開業で大成功する物語

他29タイトル

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Human Anatomy

Thieme 今日の診療 ハイブリット版 Vol.11
CDで学ぶ医師のためのオールラウンド英会話 CD1 基礎編 CD2～3 応用編
CDで学ぶ新・国際医学学会のための英会話 1・2
OSCEビデオシリーズ ①医療面接～⑦神経系の診察
ベッドサイドで心臓病患者をどうみる
①臨床に必要な解剖と生理について ②心電図の理解のために
生体のしくみ NDB-001 自然と人間～NDB-077 ストレスと適応
日本柔道整復師学術研修ビデオシリーズ 基礎編 1
日本柔道整復師学術研修ビデオシリーズ 臨床編 1
体幹系 頸部損傷～臨床編29 すぐに役立つ診断法 高齢者の骨折と予防
テストの基準と正しい手技の訓練 検査指の必須条件 1
検査指の選定とグレイディングテスト環境のチェック 誤解・間違い・不注意
臨床的応用への基礎 共鳴現象の新しい理解と応用
筋触察法 初級編
深部組織と神経筋に対する徒手テクニク 体幹編・四肢編
整形外科卒後教育研修用ビデオ 整形一 膝関節損傷の臨床診断
特に徒手検査法～整形一60 腰椎椎間板ヘルニアの経皮的髄核摘出術

クロワッサン特別編集版 マガジンハウス
Edzard Ernst 編著/Adrian Whit

直江 勝司
及川 雅登

邱 淑恵 監修
福西 佐元
呉 澤森
全国カイロプラクティック師会

佐藤 純一 編
廖 赤虹

永井 幹人
徐 堅
渡辺新一郎
明治東洋医学院編集委員会
三宅 望

桑木 崇秀
五十嵐康彦
磯谷 圭秀

秋元 恵実 監修
南京中医学院 編/石田秀実 監
織田 隆三
廖 登稔
鍼灸資生館
菊池 慶司
大川 泰

医道の日本社
主婦と生活社
東京書店

日本文芸社
冬青社
集英社

週刊住宅新聞社
メディカ出版
精文社

日本内経医学会
知玄舎
丸善株式会社
PHP 研究所
医道の日本社
海苑社

緑書房
KKベストセラーズ
現代書林

マキノ出版
東洋学術出版社
森ノ宮医療学園出版部
医歯薬出版株式会社
オリエント出版社
朱鳥社
現代書林社

Gold Standard Multimedia
Neurofunctional Systems.

上田慶二/大石実/中澤博江 他
青木照明 監修
福井次矢 監修/新保卓郎 指導

高階経和 指導/沢山俊民 指導
加藤万利子 監修
日本柔道整復師会 監修

日本柔道整復師会 監修
大村恵昭/日本バイ・デジタル
大村恵昭/日本バイ・デジタル
大村恵昭/日本バイ・デジタル
辻井洋一郎 監修・出演
Sean Riehl 出演/泉 秀幸 監修

日本整形外科学会 企画・監修

医学書院
メジカルビュー社
メジカルビュー社
インターメディアカ

インターメディアカ
医学映像教育センター
丸 善

丸 善
医道の日本社
医道の日本社
医道の日本社
医道の日本社
医道の日本社

メディカルリサーチセンター

図書館からのお知らせ

図書の無断帯出厳禁!!

一図書の貸し出し手続きは、確実に実行して下さい
平成13年度の蔵書点検において、71冊(402,939円)の図書が紛失していました。

[哲学2、社会科学1、自然科学2、医学63(内、基礎医学25、鍼灸関係18)スポーツ1、語学2](その後、3冊返却あり)

無断帯出の覚えのある方は至急返却して下さい。

図書の貸出延長について

予約者がいない場合、貸出期間中の図書であれば貸出延長手続きにより定められた期間、更に貸出延長ができます。

なお、返却日を過ぎた図書の貸出延長は出来ません。

コピー機利用時の注意

図書館のコピー機の使用は他の迷惑にならないよう、静かに行ってください。図書館のコピー機は、原則として館内資料のコピーに使用するためのものです。しかし本学のコピー機事情を考慮して、学生自身の一般的な複写にも共用を黙認しているのが現状です。試験やレポート提出期間等、混雑する時には特に閲覧環境の悪化が問題になっています。十分注意して下さい。

卒業後の図書館利用について

在学中に発行を受けた図書カードは引き続き利用できますので、入館時に受付けへ提示して下さい。

図書の貸出限度冊数は3冊、貸出期間は1ヶ月です。

平成12年度の蔵書現況

() の数は外国書で内数。

平成13年3月31日現在の蔵書冊数は、51,723冊となり、昨年より2,696冊の増。

その内訳は、一般図書39,325冊(8,572)、点字図書1,404冊、製本雑誌9,844冊(5,009)、視聴覚資料1,150点(95)。

雑誌タイトル数は、学術雑誌191タイトル(76)、一般雑誌17タイトル、計208タイトル(76)。

平成12年度利用者区別貸出件数

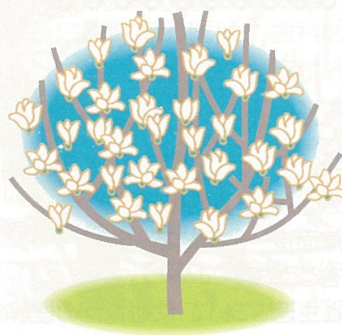
(人数は延べ数)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	院 生	卒 研 生	その他	教職員	小 計	
12年度	人数	307	813	303	634	139	66	41	190	2,493
	%	12%	33%	12%	25%	6%	3%	2%	8%	100%
	冊数	437	1,109	453	931	401	186	110	679	4,306
	%	10%	26%	11%	22%	9%	4%	3%	16%	100%
11年度実績	人数	556	765	424	655	150	124	29	237	2,940
	%	19%	26%	14%	22%	5%	4%	1%	8%	100%
	冊数	840	1,030	584	1,016	393	397	49	678	4,987
	%	17%	21%	12%	20%	8%	8%	1%	14%	100%

平成12年度図書貸出ベスト6

順位	回数	書 名	著者名	出 版 者
1	15	口腔外科学	宮崎 正編	医歯薬出版
2	13	最新泌尿器科学	大越正秋 等編	朝倉書店
3	11	鍼灸医学と古典の研究	丸山昌朗	創元社
3	11	現代の生理学 改訂第2版	古川太郎	金原出版
4	10	解剖学 1	森於菟等	金原出版
4	10	生理学 改訂第17版	真島英信	文光堂
4	10	生理学 改訂第18版	真島英信	文光堂
5	9	運動負荷テストとその評価法	Wasserman, K. 等著	南江堂
5	9	呼吸の生理 第2版	ジョン・B. ウエスト	医学書院
6	8	現代生理学	岩間吉也	永井書店
6	8	医学英和大辞典 縮刷	加藤勝治編	南山堂
6	8	鍼灸治療 基礎学	代田文誌	医道の日本社
6	8	昭和鍼灸の歳月	上地栄	績文堂
6	8	新図解医学英語辞典	奥田邦雄等	メジカルビュー社
6	8	基礎中医学	王新華 編著	谷口書店
6	8	生理学 図説 改訂	伊藤文雄	東西医学社

※ この貸出統計は図書の登録番号で集計しています。



編集後記

今回の図書館報は、昨年までの卒業生・入学生へのお祝い号の形から各先生方の著書の抱負や図書によせた現況を語っていただく編集になりました。ところで、21世紀はWTC消滅に代表される「文化の戦争」の激動の時代となるのでしょうか。いままでの考え方のみでは対処できない時代に、本学もまた変化と発展を目指さねばならないのでしょうか。最終締め切りに医療技術短期大学部の新設が認められたニュースが入りました。ほっとした気分と同時に、図書館も新しい時代に対応していく必要があります。

T. T